

**令和 6 年度笛吹市社会教育委員の会議兼公民館運営審議会
委嘱状交付式及び第 2 回会議 会議録**

日 時：令和 6 年 11 月 13 日（水） 午後 1 時 30 分～午後 3 時

場 所：笛吹市役所本館 3 階 302 会議室

出席者：◇社会教育委員（敬称略）

秋田和博、渡邊真史、須田徹、内田勝也、加々美恭子

金子津多恵、中楯文仁、石倉絹子、中村拡、原百枝

◇教育委員会

太田教育部長、角田文化財課長、松本図書館長

◇事務局

荻原生涯学習課長、生涯学習担当 河西リーダー、日下

欠席委員（敬称略）：石田史明、生原忠昌、廣瀬志保、山口隆夫、小林千澄

【進行：生涯学習課長】

次第 1 開会のことば

次第 2 議長兼会長あいさつ

＜議長兼会長＞ 皆様、こんにちは。大変お忙しい中、御出席いただきありがとうございます。6 月の第 1 回会議から約 5 か月経過した。その間、様々な社会教育に関する会議や公民館活動に関する会議などが開催され、皆様には参加をしていただき、深く感謝申し上げます。

私も文化施設の在り方検討委員会や史跡甲斐国分寺の会議に参加する機会があった。それぞれの施設の特色と価値、地域の皆様の熱い思いなどを伺う中で、やはり一つの方方向性にまとめていくのは、難しいことであることを感じた。しかしながら、まちづくりを進めるには計画や方向性がとても重要になってくることを感じた。そして、まちづくりの中に社会教育の視点を加えていくことが、大切であると改めて感じた。本日の会議でも、この後に開催予定の社会教育大会公民館研究大会についての提案がある。情報を得る貴重な機会になると思うので、都合をつけて参加してもらいたい。本日も活発な皆様の御意見を期待しているので、是非よろしく願いしたい。

次第 3 会議録署名委員の指名について

笛吹市社会教育委員会議運営規則第 4 条第 2 項に基づき、石倉議長から原百枝氏が会議録署名委員に指名された。

次第 4 議事

笛吹市社会教育委員会議運営規則第 4 条第 2 項及び笛吹市公民館運営審議会規則第 4 条の規定により石倉議長が議事進行を行う。

社会教育委員の会議

(1) 市社会教育事業報告について

生涯学習課、文化財課、図書館から説明後、質疑応答を行い、報告内容について了解いただいた。

【質問意見等】

<委 員>

市民講座について、「大人の工場見学」はとても良い講座だと思う。市内にも大人が社会見学として、例えばワイナリーや消防署など、普段は見学することができない施設や市内の公共施設などを見学できる企画を考えてもよいと感じた。

先日、春日居郷土館で開催された「写真で見る！20 年の変化展」を拝見した。素晴らしい写真がたくさんあった。各学校にも 20 年以上前の写真が残っていると思うので、航空写真や学校の創立記念で撮影した写真などを活用して、5 年後、10 年後に同じような企画を開催する時には、役立ててもらいたい。市のホームページにも、市内で撮影した写真や動画を投稿するページがあると思うので、集められた写真や動画も活用してもらいたい。

私が住んでいる一宮町東原地区では、公民館まつりが行われている。地域に伝わる太鼓・鐘・横笛・三味線の演奏を初めて聴いた。関係者から、後継者のことや地域の子ども達に演奏を聴いてもらいたいとの話を聞き、一宮西小学校の校長へその旨を伝え、橋渡しをした。地域の伝統文化である踊りや演奏を行う人達が少なくなっているが、改めて立ち上げることは困難であるので、伝統文化を写真や動画のデータを保存して、市の郷土文化として、残して見られるように考えてもらいたい。

<委 員>

俳句会の市内小中学校の応募状況を教えてもらいたい。

＜生涯学習課長＞市内の小中学校 19 校あり、どこの学校も大体 9 割を超える応募投句があった。基本的に、例年どおりの傾向である。

＜委 員＞ 私が応募した市民講座「オリジナル入浴料づくり」について、市民講座内容一覧タイトル「入浴料」は「入浴剤」の間違いではないのか。

＜生涯学習課長＞「入浴料」で正しい。入浴料は、浴用化粧品として分類される。

＜委 員＞ 俳句会の応募について、QR コードを付けた応募チラシを作成して応募数を増やす取り組みを行ったと、説明があったが、学校応募や個人応募は増えたか。

＜事務局＞ 応募総数については、今年は 3 万 6211 句の応募があり、昨年と比較して全体として約 3 千句増えた。学校応募や個人応募については、学校応募は 516 校、個人応募は 152 人であり、昨年と比較して減少した。減少した理由は、学校の統廃合による学校数の減少と児童生徒の減少と推測する。
引き続き、市内の観光施設や公共施設に応募チラシの配置を行い、他の周知方法も検討していく。

＜委 員＞ 小学校に勤務しているが、習字やポスター作成の募集がたくさんある中で、俳句会は、教育委員会からの協力要請もあるので、毎年応募に取り組んでいる。児童生徒が考えて取り組んでもらえるように、市が「俳句の里」であることや俳句の意味、素晴らしさを伝えながら行っている。

＜委 員＞ 先ほど、公民館まつりの話があったが、以前、県公民館連絡協議会の公民館活動事例発表で公民館に関わる方々が地域の子ども達に様々な伝統文化や行事を伝えることを進めているという話を聞いた。コミュニティスクールでも、地域の人達が学校活動に加わっていく活動を進めている。一宮西小管内に限らず、それぞれの地域で伝統文化についての伝承活動を進めてもらいたいと思う。

(2)山梨県社会教育委員連絡協議会の報告について

事務局からの説明後、質疑応答を行ったが、質問等がなかったため、報告内容について了解いただいた。

(3)その他について

【質問意見等】

<委 員>

昨年度の会議で、ウィキペディアタウンについて話をした。それについて、二つのことを取り組んだことを紹介したい。一つ目は、自分自身で記事を書いてみたこと。二つ目は北杜市で行われているウィキペディアタウンに参加したこと。その二つの体験を通して、ウィキペディアを使うことは、新しい切り口であることを強く感じた。私は、出身地や卒業した学校、春日居町にある兜山、自宅近くの石和温泉駅について記事を書いた。資料を集めて読み込んで書くことで、身近で知っていると思っていたことを、より深く知ることができ、作業が進むにつれ愛着心が湧いて、記事が完成したときには達成感があった。前回は、市民講座としての検討について意見を述べさせてもらったが、本日は、笛吹高校の廣瀬校長が欠席であるが、総合学習やカリキュラムの一つとして取り組むことで、自分の出身地に対する愛着心が育まれるのではないかと感じた。北杜市のウィキペディアタウンは、一日単位のイベントで市の文化財課や図書館の方と、午前には神社を回って説明を聞いて、午後に記事を書き込んでいくイベントであった。笛吹市がウィキペディアタウンを市民講座として開催するなら、生涯学習課をはじめ、文化財課や図書館といった教育委員会全体で検討してもらいたい。

<委 員>

社会教育とは関係ない話になるが、選挙の投票所において配布される投票済証明書のイラストに笛吹高校の生徒が描いた絵画を採用している。そのイラストの原画を、市役所で飾った事例はあるのか。または、市役所で飾ることは可能か。生徒の作品はすばらしい絵画であるので、はがきサイズの規格だけではもったいないと感じている。公共施設でも構わないので原画を飾ってもらいたいと思った。笛吹高校の廣瀬校長にもその旨を伝えてもらいたい。

公民館運営審議会

(1) 山梨県公民館連絡協議会の報告について

事務局から説明後、質疑応答を行い報告内容について了解いただいた。

(2) その他について

【質問意見】 なし

次第5 閉会のことば